広報 まちだ
第1352号
2003年（平成15年） 2／1
発行・町田市　編集・企画部広報広聴課
〒194-8520　東京都町田市中町1－20－23
市役所の代表電話042・722・3111
発行日・毎月３回１の日（１日、11日、21日）
ホームページ http://www.city.machida.tokyo.jp

人口と世帯

人口　３９３，６６６人
男　１９５，４８９人
女　１９８，１７７人
（前月より２９５人増）
世帯　１５８，５３６世帯
（前月より１１９世帯増）
（１５年１月１日現在）

あらゆる核兵器の廃絶を目指して
町田市非核平和都市宣言20周年

町田市は、１９８３年2月1日に「非核平和都市」を宣言しました。これは、非核三原則が完全に実施されることを願い、あらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶を訴えたもので、唯一の被爆国である日本国民の平和を願う決意です。

この宣言から20周年を迎える今年2月、一人ひとりが戦争の悲惨さ、原爆の悲劇、平和の尊さを改めて考え、「非核平和のこころ」を広める機会としていただこうと、市では、多くの市民団体と協働してさまざまなイベントを開催します。

問企画調整課☎724・2103

市役所横入り口にある町田市非核平和都市宣言の碑

非核平和都市宣言

真の恒久平和を実現することは人類共通の願いであり、世界で唯一の核被爆国の国民として私達は、そのために積極的に寄与する努力を続けてきた。

しかるに、核軍備の拡張は依然として続けられ、世界平和に深刻な脅威をもたらしている。

町田市は、日本国憲法に掲げられた平和主義の理念を、市民生活の中に生かすことが、地方自治の基本条件の一つであることにかんがみ「つくらず・持たず・持ち込ませず」の非核三原則が、完全に実施されることを願い、あらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶を、全世界に向かって訴えるものである。

町田市は、本日ここに市制施行二十五周年を迎えるに際し、あらためて平和への誓いを新たにし、非核平和都市となることを宣言する。

一九八三年二月一日　町田市

町田市非核平和都市宣言20周年イベント
Hey！ひろげよう“輪”つなげよう

☆市民による平和ミュージカル【Life in Peace～この街が好き～】

○日時　2月1日（土）1回目＝午後2時～・2回目＝午後6時～
○会場　町田市民ホール
○定員　各回８００人（先着順）
運営：町田っ子

☆パレスチナの子どもたちに平和と笑顔を

【映画「プロミス」】
○日時　2月8日（土）1回目＝午前10時30分～・2回目＝午後3時30分～
○会場　中央図書館6階ホール
○定員　各回１２０人（先着順）
【講演「パレスチナの今を生きる子どもたち」】
○日時　2月8日（土）午後1時～
○会場　中央図書館6階ホール
○講師　田中好子さん（パレスチナ子どものキャンペーン事務局長）
○定員　１２０人（先着順）
【写真・絵画展「鳥になれたら」&広河隆一写真展】
○期間　2月1日（土）～9日（日）
○時間　午前10時～午後7時
○会場　街かどギャラリー
運営：平和・市民・町田

☆地雷ではなく花を下さい

【講演「地雷ではなく花を下さい」】
○期間　2月11日（祝）・13日（木）～18日（火）
○時間　午前10時～午後7時
○会場　街かどギャラリー
運営：世界連邦運動協会町田支部

☆核のない21世紀を

【お話とコンサートの夕「ヒロシマの訴え・チェルノブイリの希望の歌」】
お話／銀林美恵子さん　歌／ナターシャ・グジーさん
広島で被爆した銀林さんのお話と、6歳の時にチェルノブイリ原発事故で被ばくしたナターシャさんの歌が、核のない平和な世界への想いを広げます。フィナーレには、中高生のみなさんがナターシャさんと一緒に平和への想いをこめて歌います。
○日時　2月28日（金）午後6時30分～
○会場　町田市民ホール
○定員　８００人（先着順）
【チェルノブイリの子どもたちの絵&広河隆一写真展】
チェルノブイリで被ばくした子どもたちが描いた絵と、広河隆一さんの写真を展示します。戦争と平和に関する本も展示します。
○期間　2月20日（木）～27日（木）
○時間　午前10時～午後7時
○会場　街かどギャラリー
運営：町田　子ども・本・文化ネットワーク

チェルノブイリで被ばくしたナターシャ・グジーさんが歌います

NPO法人「難民を助ける会」の理事長であり、「地雷ではなく花を下さい」の著者でもある柳瀬房子さんのお話を伺います。また、アフガニスタンの現状報告会も実施します。
○日時　2月15日（土）午後1時30分～
○会場　中央図書館6階ホール
○講師　柳瀬房子さん（「地雷ではなく花を下さい」著者・難民を助ける会理事長）
○定員　１２０人（先着順）
【葉祥明絵本原画展「地雷ではなく花を下さい」】
対人地雷撤去キャンペーン絵本「地雷ではなく花を下さい」シリーズから、第5編「サニー・アフガニスタンへ」の葉祥明さんによる原画を展示します。また、アフガニスタンの状況を示す写真パネルも展示します。

町田に静かな空を返せ
寺田市長が厚木航空施設司令官を訪問・実情を訴える

1月14日、寺田市長が東京都幹部とともに厚木基地に、昨年12月に着任した厚木航空施設司令官リード・エクストロム大佐を訪問しました。

市では、これまで厚木基地における夜間離着陸訓練の中止など、再三にわたって書面で要請してきましたが、今回は、市長が直接司令官に初めて面会し、実情を訴えたものです。

その席で、市長は、町田市の市街地上空が厚木基地に飛来する航空機の離着陸コースになっており、飛行に伴う騒音で、市民が激しい生活被害を受けている状況を説明し、夜間飛行の中止、飛行高度や飛行技術などにより騒音の発生を抑えるよう伝えました。また、昭和39年には、原町田市街地に米軍機が墜落し、多数の死傷者が出たことなどを説明し、安全な飛行に万全を期するよう要請しました。

これに対し、司令官からは安全を第一にしており、基地周辺が高度に市街化しているため、周辺住民の声に耳を傾け、硫黄島を活用するなどして、できる限り騒音が軽減できるよう引き続き努力していきますとの回答がありました。

1月8日にも訓練の中止要請

昨年12月27日に防衛施設庁東京防衛施設局から、厚木基地において1月20日から22日の18時から22時まで米空母艦載機による夜間離着陸訓練（NLP）を実施し、硫黄島での訓練が天候等の事情により予定どおり実施できない場合には、同月15日から19日の同時間に厚木基地で訓練を実施する可能性があるとの事前通告がありました。

これを受け、市では、1月8日、在日米軍司令官、在日海軍司令官、厚木航空施設司令官、駐日米国大使に対し、米空母艦載機による離着陸訓練の中止を要請しました。また、防衛施設庁、防衛庁、外務省に対し、訓練の中止を米軍に申し入れるよう要請しました。

東京都も同様の要請をしています。

町田市では、今後も引き続き、東京都、神奈川県や基地周辺の各市とともに、米軍、日本政府に対し航空機騒音の防止対策等について粘り強く要請していきます。

厚木航空施設司令官と会談する寺田市長

R100 本紙は古紙配合率100％・白色度70％再生紙を使用しています。ごみの減量と資源化にご協力を